

感染看護学演習

[演習] 1年・2年 前後期 選択 30時間 2単位

《担当者名》 塚本 容子(デ) [yokot88@hoku-iryo-u.ac.jp]
山田 拓[yamada_k@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

感染症看護専門看護師の役割遂行に必要なとされる知識・能力を養うことを目的としている。感染症発生時の対応の基盤となるフィールド疫学、医療関連感染予防のための看護介入（手指衛生アドヒアランス向上対策、隔離予防策の実施など）、医療従事者の健康管理（職業感染管理）、そして感染予防・管理教育について事例をもとに、既存の理論モデルなどを用いて、知識を深める

【学修目標】

- 1) 感染予防・管理の基盤となる、患者安全の考え方を理解できる
- 2) 医療施設組織分析（SWOT分析）を行い、組織の課題を明確にし、医療関連感染予防に関する必要な看護介入を検討する
- 3) 医療従事者の健康管理（針刺し損傷の対応・ワクチンプログラムなど）の必要性を理解し、実施に向けたプログラム構築及び調整役割について考察できる
- 4) 成人教育を鑑みた感染予防・管理教育について、演習にて実施する

【学習の進め方】

すべてのテーマに置いて、事前の学習課題を提示する。実際の授業では、事前の学習課題のディスカッションを中心に進めることでアクティブラーニングを推進する

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 ） 2	感染予防・管理における リスクマネジメント・セフティマネ ジメント概論	感染予防・安全管理の視点からの医療施設のリスクマ ネジメント、患者安全に関して、実際の事例をもとに 検討する。その上で、専門看護師が果たす役割につい て考察できる	塚本 山田
3 ） 4	部門別感染予防・管理	下記の部門別の感染予防対策について、エビデンスを 鑑みて事例検討を行う。その上で、専門看護師として の実践、及び教育の役割を考察する ・ICUにおける感染予防のための活動 ・NICUにおける感染予防のための活動 ・透析室における感染予防のための活動	塚本 山田
5 ） 6	感染予防・管理を担う看護師の役 割：感染症看護専門看護師の役割	組織（医療施設）の感染予防・管理のニーズを把握す るために、SWOT分析手法を用いて分析する。分析内容 を基に専門看護師の役割を考察し、プレゼンテーショ ンする。現場で活動している専門看護師からフィード バックを得る	原理加（特別講師） 塚本
7 ） 8	感染予防・管理に必要な感染予防教 育案の立案	成人学習理論を鑑みた対象者のニーズアセスメントの 方法について学習する。一つのトピックを選択し、感 染予防教育案を立案する	塚本 山田
9 ） 10	職業感染予防：ワクチンプログラム と調整役割	医療従事者へのワクチンプログラム構築 実際の事例を通じて、ワクチンプログラムについて検 討し、専門看護師としての調整役割を考察する	塚本 山田
11 ） 12	職業感染予防：血液・体液曝露時の 対応と調整役割	医療従事者の血液・体液曝露時の対応に関して実際の 事例をもとに検討する。その上で、専門看護師として の調整役割について考察する	塚本 山田
13 ） 14	職業感染予防：結核と倫理調整	結核の予防、及び曝露時の対応について、実際の事例 をもとに検討する。その上で、専門看護師としての倫 理調整の役割について考察する	塚本 山田
15	まとめ	学生が1事例を選択し、学習した内容を振り返りなが らプレゼンテーションする。その視点としては、専門 看護師の役割開発を主眼とする	塚本 山田

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

プレゼンテーション（30%）、課題レポート（70%）

【教科書】

随時提示する

【参考書】

随時提示する

【学修の準備】

必要な文献、資料を熟読すること。事前の学習課題を課すので、講義前に準備しておくこと。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。